

麻しん（はしか）の注意喚起～麻しん患者の発生について～

令和6年2月23日（金）、奈良市内の医療機関から麻しん（臨床診断）の届出があり、奈良県保健研究センターで検査を実施したところ、2月24日（土）、麻しんウイルス陽性であることが判明しました。

今後の感染拡大を防止し、注意喚起のため報道発表します。

報道に際しては、患者のプライバシー保護及び施設の風評被害にならないよう、十分配慮していただきますようお願いいたします。

1 発症者の状況

20歳代、男性

症状：発熱、咳、鼻汁、結膜充血、発疹

2 経過

2月 7日（水） 海外から入国

19日（月） 京都市から奈良市へ移動。発熱（発症日）

23日（金） 届出医療機関を受診し、入院
麻しん（臨床診断）発生届の提出

24日（土） 奈良県保健研究センターで検査結果判明
同日～

25日（日） 患者の疫学調査を実施、接触が特定できた方に連絡

3 患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性がある日時及び施設等

○2月19日（月） JR山陰本線及びJR奈良線 10時半～12時半頃
二条駅出発（10時半以降）➡ 京都駅経由 ➡ 奈良駅到着（12時～12時半）

○2月21日（水） 13時～14時半
奈良市観光センター NARANICLE（ナラニクル）

所在地：奈良市上三条町23-4

（注）店舗等への問い合わせは御遠慮ください。

～注意喚起の内容～

① 麻しん患者と接触した場合は、潜伏期間を考慮し、接触後21日間の健康観察が必要です。

② 同日の時間に上記施設等を利用した方で3月13日（水）までに発熱・風邪症状・発疹の症状が出現した場合は、医療機関の受診が必要です。
受診する前に最寄りの保健所に連絡するか、必ず事前に医療機関に連絡し、

「麻しんかもしれない」ことを伝えたいうえで指示に従ってください。連絡なく医療機関を受診することは絶対にやめてください。

【参考】

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる病気で、典型的な症状としては、感染の約10日後に発熱や風邪症状が始まり、2～3日発熱が続いた後、39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。全身の免疫力が低下するため、肺炎・中耳炎・脳炎などを合併することもあります。

予防接種を1回も受けていない乳児や妊婦が発症すると重症化や流産する危険もあります。定期の予防接種は、1歳児と就学前の幼児（年長児）です。対象者はできるだけ早めに受けるようにしましょう。

詳しくは、奈良市ホームページ「麻しん（はしか）に注意しましょう！」をご確認ください。

<https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/98/7645.html>

<麻しん患者の発生状況>

年	H31/R1	R2	R3	R4	R5
奈良市	3	0	1	0	0
奈良県	10	0	1	0	0
全 国	744	10	6	6	28